

対象団体:4～6月に支払をしたい団体
提出時期:4～6月の支払が生じる前まで(事前申請)

記入例

様式第3号(第7条関係)

令和7年4月10日

飛驒市長

あて

正式名称で
(略称不可)

団体所在地 **飛驒市古川町本町 2-22**

団体名称 **飛驒市サッカークラブ**

代表者氏名 **飛驒 太郎**

連絡先 **0577-62-8030**

記入漏れが多いため、担当者は確認をしてください。

事前着手届

押印不要

令和7年度飛驒市スポーツ文化活動充実交付金について、下記のとおり交付金交付決定前に着手したいので、下記誓約条項を付して届け出ます。

記

1 事業内容

事前着手の事業内容	選手のモチベーション向上及び練習の幅を広げるため、チームユニフォームの更新及び練習器具を購入する。
事前着手予定日	令和7年4月15日
事前着手が必要な理由	新年度からユニフォームを更新するとともに、本格的に練習が始まる前に練習器具を揃えたいため。

2 誓約条項

- (1) 交付金の交付決定を受けるまでの期間内に、天災、地変等の事由によって実施した事業に損失を生じた場合、これらの損失は、実施主体が負担します。
- (2) 当該事業については、着手から交付金の交付決定を受ける期間内においては、計画の重要な変更を行いません。

対象団体:一般のクラブチーム(スポ少、部活動、認定地域クラブは不要)
提出時期:7月上旬(交付申請を提出する前)

記入例

様式第1号(第3条関係)

令和7年7月10日

飛驒市長 あて

正式名称で
(略称不可)

団体の所在地
団体の名称

飛驒市古川町本町2-22
飛驒市サッカークラブ
飛驒 太郎

飛驒市スポーツ文化活動充実交付金地域クラブ等団体申請書

押印不要

次のとおり飛驒市スポーツ文化活動充実交付金要綱の規定による交付金の交付を受けた
いので、同要綱第3条の規定により申請します。

代表者名	飛驒 太郎	代表者 電話番号	0577-73-0000
代表者住所	〒509-4232 飛驒市古川町本町2番22号		
種目	サッカー	登録人数	16名
大会出場の 有無	有り ・ 無し		
団体の目的	営利目的 ・ 非営利目的		
担当者	氏名	古川 太郎	電話番号 090-0000-0000
	住所	〒509-4221 飛驒市古川町若宮二丁目1番66号	
	メールアドレス	hida-soccer.c@zmail.com	

地域クラブ等団体登録者名簿

No.	氏 名	住 所	学 校 名	学年	クラス
1	飛驒 次郎	古川町本町 2-22	古川中学校	2	1
2	飛驒 三郎	古川町本町 2-22	古川中学校	3	2
3	古川 次郎	古川町若宮 2-1-66	古川中学校	2	2
4	古川 三郎	古川町若宮 2-1-66	古川中学校	1	1
5	河合 太郎	河合町角川 223-1	古川中学校	3	1
6	河合 次郎	河合町角川 223-1	古川中学校	2	1
7	河合 三郎	河合町角川 223-1	古川中学校	1	1
8	宮川 太郎	宮川町林 50-1	古川中学校	3	2
9	宮川 次郎	宮川町林 50-1	古川中学校	2	1
10	宮川 三郎	宮川町林 50-1	古川中学校	1	2
11	宮川 四郎	宮川町林 50-1	古川中学校	1	2
12	神岡 太郎	神岡町東町 378	神岡中学校	3	A
13	神岡 次郎	神岡町東町 378	神岡中学校	2	A
14	神岡 三郎	神岡町東町 378	神岡中学校	2	B
15	神岡 四郎	神岡町東町 378	神岡中学校	1	A
16	神岡 五郎	神岡町東町 378	神岡中学校	1	A

※名簿に記載する団体構成員は市内に住所を有し、居住している方のみ。

上記団体構成員は当団体に所属する選手等として登録しており、また上記記載内容に相違ありません。

令和7年7月10日

団体名 飛驒市サッカークラブ

代表者 飛驒 太郎

飛驒

原則、7月中

※6月は基準日前のため不可

8月は遅い

要押印

これ以降の様式は申請団体すべて提出が必要です

記入例

様式第1号（第4条関係）

日付は記入しない

令和 年 月 日

飛騨市長 都竹 淳也 様

正式名称で
(略称不可)

住 所 飛騨市古川町本町 2-22
団 体 名 飛騨市サッカークラブ
代表者名 飛騨 太郎

補助金交付申請書

押印不要

次のとおり飛騨市補助金交付規則の規定による補助金の交付を受けたいので、同規則第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

事業の名称	飛騨市スポーツ文化活動充実交付金
補助金交付申請額	105,000円
補助金交付申請額のうち、概算払による交付が必要な場合その申請額及び理由	(概算払申請額) 0円 (概算払理由) ※この欄は自己資金が無く、概算払いがどうしても必要な場合のみ記入

7月1日現在の団体登録人数に、一人当たりの金額（7,000円）を乗じた額を記入
※一人当たり7,000円の金額は年度で変動する可能性があります

担当 古川 090-0000-0000

書類を作成する担当者の連絡先を記入ください

記入例

様式第2号（第4条関係）

補助事業計画書

補助事業(団体運営 補助の場合は団体) の目的	活動費（消耗品費・遠征経費）または物品購入費によりスポーツ活動を充実させるため。
補助事業(団体運営 補助の場合は団体) の概要	※活動費（消耗品費・遠征経費）または物品購入費の具体的な内容（品名、数量、どこの遠征かなど）を記載。 ユニフォームの更新及び練習器具の購入 チームユニフォーム 15着 練習ユニフォーム 15着 ボール 10個 スプリントトレーニング器具 2個 タープテント（2m×2m）2張 応急セット 1セット
補助事業の着手及び 完了(予定)年月日	着手(予定)日 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 完了(予定)日 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日
補助事業の実施(団体運営補助の場合は団体活動)の公益上の必要性及び公益的効果	※今回の交付金により今までと比較して、どのようにスポーツ活動が充実し、どのような効果が期待されるのか記載。 ※以下は一例です。 ユニフォームの購入により、新チームとして一体感が強まり、選手のモチベーション向上に繋がる。 また、新たな練習器具を購入し、練習メニューの選択肢の幅が広がり、選手の能力向上に期待できる。 熱中症対策としてテント購入とともに、応急セットの更新を行い、練習環境の充実を図る。
その他特記事項	

申請にない内容を交付金対象とすることはできません。
事業内容を検討し、すべて記載してください。

着手日：発注日、予約日
完了日：最終支払予定日
※事業完了予定日が未定の場合は年度末の日付

その他参考となる詳細な資料があれば添付すること。

記入例

様式第3号（第4条関係）

補助事業収支予算書

R7は基本分5,000円と特別分2,000円で一人7,000円です。
一人7,000円で計算してください。
注）毎年7,000円とは限りません。

収 入

科目（区分）	予算額	補助対象分	補助対象外分	説 明
市 交 付 金	105,000	105,000	0	7,000円×15人
国・県補助金	0	0	0	
自 己 資 金	145,000	115,000	30,000	
その他助成金等	0	0	0	
計	250,000	220,000	30,000	

支 出

（単位：円）

科目（区分）	予算額	補助対象経費	補助対象外経費	説 明
消耗品費	150,000	150,000	0	ユニフォーム、ボール、応急セット
物品購入費	100,000	70,000	30,000	トレーニング器具、テント
計	250,000	220,000	30,000	

収入と支出は同額となるようにしてください。
支出→収入の順で作成するとやりやすいです。

監督、コーチ用の椅子など、選手のための費用と言えない費用は対象外経費として計上

記入例

様式第2号（第3条関係）

記入漏れが多いため、担当者は確認をしてください。

7月以降の日付

令和7年7月1日

飛驒市スポーツ文化活動充実交付金所属団体確認書

令和7年7月1日現在において、私（児童・生徒等）は次の団体に所属していることを証明します。また、所属団体に今年度の飛驒市スポーツ文化活動充実交付金が交付されることに同意します。

(フリガナ) 加入者氏名	ヒダ ジロウ 飛驒 次郎		
学校等名称	飛驒高校	学年・クラス	2年1組
保護者氏名	飛驒 太郎		
住 所	飛驒市古川町若宮二丁目1番66号		
所属団体名称	飛驒市サッカークラブ		
所属団体種類 ※該当する種別に□にレ印を記入	☐ 飛驒市スポーツ少年団 ☐ 飛驒市内中学校部活動（ ☐ 運動部・ ☐ 文化部） ☐ 飛驒市地域クラブ実証団体（ ☐ 運動部・ ☐ 文化部） ☒ 飛驒市認定地域クラブ（ ☒ 運動部・ ☐ 文化部） ☐ その他		

【注意！】
保護者が①自署②記名に押印のいずれかしてください。

※氏名は本人または保護者が自署してください。自署しない場合は記名・押印してください。
所属団体名称は当交付金の交付対象とする団体名を正確に記入してください。

- ・ 所属員1名につき1枚作成し、申請書等に添付してご提出ください。
- ・ 同一競技等ではない複数の団体に所属している方は、所属団体ごとに本確認書を作成ください。

記入例

様式第6号（第7条関係）

日付は記入しない

令和 年 月 日

飛騨市長 都竹 淳也 様

正式名称で
(略称不可)

住 所 飛騨市古川町本町 2-22
団 体 名 飛騨市サッカークラブ
代表者名 飛騨 太郎

補助事業実績報告書

押印不要

次のとおり飛騨市補助金交付規則第7条の規定による実績報告書を提出します。

1 実施した補助事業の名称

飛騨市スポーツ文化活動充実交付金

2 補助事業の着手及び完了日

着 手 令和 ○ 年 ○○ 月 ○○ 日

完 了 令和 ○ 年 ○○ 月 ○○ 日

計画では予定日を入れましたが、ここでは領収書
などから実際の日付を入れてください。

着手日：最も早い発注日または領収書の日付

完了日：最も遅い領収書の日付

※完了日を誤って年度末にする方多いので注意！

3 補助事業の実施に係る経過及び結果並びに公益的效果

※今回の交付金で申請した事業の実施結果やその結果からどのようにスポーツ活動が充実し、どのような効果がもたらされたのか記載。

以下は一例です。結果なので、過去形の表現となること。

ユニフォームの購入により、新チームとして一体感が強まり、選手のモチベーション向上に繋がった。

また、新たな練習器具を購入し、練習メニューの選択肢が増え、今まで強化できなかった部分の選手能力が向上した。

熱中症対策としてテント購入とともに、応急セットの更新を行い、練習環境を充実するとともに衛生的な応急セットを整備することができた。

(注) 事業の実施状況及び結果が具体的にわかる資料(写真、パンフレット、新聞記事等)を添付すること。

4 補

収入

予算額欄は申請時に提出した際の様式第3号を転記

補助金実績額が申請額を下回る場合、100円未満の端数切り捨てに注意

記入例

科目（区分）	予算額			収入済額は収入見込額	補助対象分	補助対象外分	備考
		補助対象分	補助対象外分				
市補助金	105,000	105,000	0	105,000	105,000	0	
国・県補助金	0	0	0	0	0	0	
自己資金	145,000	115,000	30,000	118,855	90,805	28,050	
その他助成金等	0	0	0	0	0	0	
計	250,000	220,000	30,000	223,855	195,805	28,050	

支出

科目（区分）	予算額			支出済額又は支出見込額			備考
		補助対象分	補助対象外分		補助対象分	補助対象外分	
消耗品費	150,000	150,000	0	135,635	135,635	0	
物品購入費	100,000	70,000	30,000	88,220	60,170	28,050	
計	250,000	220,000	30,000	223,855	195,805	28,050	

各列の収入と支出の合計額が同額になることを確認

収入・支出差引残額

0 円

収入と支出の確定額の差が0円となることを確認

記入例

様式第8号（第5条、第7条関係）

日付は記入しない

令和 年 月 日

飛騨市長 都竹 淳也 様

正式名称で（略称不可）
様式すべて名称統一

住 所 飛騨市古川町本町 2-22
団 体 名 飛騨市サッカークラブ
代表者名 飛騨 太郎

補助金交付請求書

次のとおり補助金を交付されたく請求します。

押印。省略する場合は最下部の記載が必要。

記

記入しない

補助金請求額		105,000 円	
交付決定	補助金の名称	飛騨市スポーツ文化活動充実交付金	
	交付決定年月日	令和 年 月 日	
	指令番号	飛騨市指令教第 号	
	補助金額確定通知	令和 年 月 日	
振込口座	（金融機関名）〇〇銀行 （預貯金種目）普通 当座 （口座名義）△△△△ △△△ （口座名義フリガナ）〇〇〇〇 〇〇〇		
	（支店等名）〇〇支店 （口座番号）□□□□□□□		

1 補助金額確定後の請求の場合

補助金交付決定額 (A)	確定した補助金額 (B)
105,000 円	105,000 円
前回までの受領額 (D)	請求額 (B) - (D)
0 円	105,000 円

振込口座を記入してください。

申請団体名が含まれない個人名の口座の場合は、口座名義の方が団体に属していることを示す、総会資料などを添付してください。

2 概算払による請求の場合

補助金交付決定額 (A)	すでに概算払により 受領している額(B)	今回概算払請求額 (C)	未受領額 (A) - (B) - (C)
円	円	円	円

押印省略をする場合は余白に以下の情報を記入 ※この書類に書き損じがある場合は押印省略ができません

発行責任者 電話 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇/メール 〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇)

担当者 電話 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇/メール 〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇)